学校番号	３０３５

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　公共　（数研出版）						
副教材等	2026 最新図説公共　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会の諸課題に対して、自ら解決する方法を探究することにより、自らの課題として捉えること。
・同じ社会に暮らす級友と課題や解決策を協働・共有してともに模索する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
公共的空間における自己を認識し、現代の諸課題を追求することで公民的な知識を培う。
【思考力、判断、表現力等】
現代の諸課題について、事実を基に多角的・多面的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れて、議論する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を追究し、解決を模索する活動を通して、広い視野に立ち、主体的に判断する力を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	諸資料を収集し、基礎的知識を身につけるとともに、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	社会的な事象の本質や課題について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。	現代社会と人間に関する関心を高め、意欲的に課題を追究解決しようとしている。平和で民主的なより良い社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としてのあり方・生き方についての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	公共的な空間を作る私たち	1　青年期と自己形成 2　西洋近現代の思想 3　人間の諸課題と倫理	a: 青年期や伝統文化や外来文化、宗教はどのような意味をもつのか、自己のあり方生き方と結びつけて理解している。 b: 公共的な空間と人間との関りの観点から、「環境保護」「生命倫理」を、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。	・定期考査 ・授業内課題	・定期考査 ・ペアワーク、グループワーク等 ・授業内課題	・授業内での取り組み姿勢 ・課題提出 ・ペアワーク、グループワーク等
	公共的な空間における基本原理	1　民主社会の基本的原理 2　日本社会の基本原理 3　日本国憲法に生きる基本的原理	a:法の支配の歴史的背景や民主政治の基本原理の知識を身につけたうえで、日本や世界の国家体制の仕組みについて理解している。 b:日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本原理との関連について考察、表現している。 c:自己のあり方生き方と民主主義がどのように関係しているかについて、主体的に追究しようとしている	・定期考査 ・授業内課題	・定期考査 ・ペアワーク、グループワーク等 ・授業内課題	・授業内での取り組み姿勢 ・課題提出 ・ペアワーク、グループワーク等
後	日本の政治機構	1 国会のしくみと役割 2　内閣のしくみと行政機構 3　日本の裁判制度 4　司法参加と刑事司法制度	a:日本国憲法における三権相互の関係とそれぞれの役割、時代の変化に伴う行政機能の拡大について理解できている。 b:三権相互の関係と行政機能の拡大の是非について考察、表現している。 c:裁判員制度など、それぞれの制度の意義を理解し、積極的に参画する自覚を持とうとしている。	・定期考査 ・授業内課題	・定期考査 ・ペアワーク、グループワーク等 ・授業内課題	・授業内での取り組み姿勢 ・課題提出 ・ペアワーク、グループワーク等

期	政治参加と民主政治の課題	1 選挙の意義と課題 2 政党の役割 3 地方自治の現状と課題 4 世論の形成と現代民主政治の課題	a:選挙の意義や政党の役割、地方自治の現状と課題についての基礎的知識を理解している。 b: 身近な課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるのかを考察・表現している。 c:政治参加と公正な世論形成に関わる現代の諸課題について主体的に解決しようとしている。	・定期考査 ・授業内課題	・定期考査 ・ペアワーク、グループワーク等 ・授業内課題	・授業内での取り組み姿勢 ・課題提出 ・ペアワーク、グループワーク等

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度